

地域密着型サービス自己評価票

- 。 指定小規模多機能型居宅介護
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- 。 指定認知症対応型共同生活介護
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成 20年 8月 31日
事業所名	グループホームはるすのお家 尾張旭
ユニット名	爛々(2階)
事業所番号	2374500607
記入者名	職名 管理者 氏名 福本 弥生
連絡先電話番号	0561-54-5508

自 己 評 価 票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅰ.理念に基づく運営			
1.理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	○している○理念をミーティングのときに話し合っている。○リビングや玄関にも掲示がされている。○グループホーム全体としての理念や事業目的がある。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	○毎月のミーティングで全員で復唱している○ミーティングを始める前に唱和している。○日々、取り組んでいる。○理念に沿って取り組むように心掛けている○玄関に掲示されており、管理者からはミーティングの際にそれに沿った話がある	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	○ご家族には入居時に説明をし、理念を理解してもらっている○地域行事には参加している。買い物、外食などでは少しずつなじみの顔にもなっている。通信やブログを通じて家族に伝えている。○立ち話をすることもある	
2.地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	○散歩で逢うと挨拶をしている。畑で取れた野菜を持ってきてくださる。○近所の人にあったら入居者の方と一緒に笑顔で挨拶をするように努めている○近所づきあいを大切にしている。○隣の庭によく洗濯物が飛んでいき、そのたびに奥さんが持ってきてくださる。○とおりが帰りの人が雨を知らせてくださる。○犬の散歩の途中によってくださる方がいる。○挨拶したり、挨拶してもらったりしている。○行事には誘ったり、声をかけている	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	○盆踊りなどの地域活動に参加し、地元の人々と子流することに努めている○スクールガードやリサイクルマーケットなどに参加している。○清掃等に参加している。○公園の花の植え替え、料理教室等にも参加している。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	- 事業所の力を活かした地域貢献 - 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	スタッフ間で特に話し合ったり、取組んではない。○推進会議では話し合われている（玄関に議事録が設置、またインターネット上でも公開されているため、自由に閲覧できる）○子供110番の家に登録したり、リサイクルマーケットに出店したりしている		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	- 評価の意義の理解と活用 - 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	各スタッフ自己評価外部評価、実施している○ミーティングで話し合っている○自己評価し改善に努めている○評価結果や、要改善項目について話し合っている		
8	- 運営推進会議を活かした取り組み - 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	担当職員が行っている○話し合い、利用者の日常の暮らしぶりを報告して向上に生かしている。○2ヶ月に1回行っている		
9	- 市町村との連携 - 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行っている○連絡協議会の参加○介護認定の時には入居者の方と一緒に市役所へ出向くようにしている。○運営や支援のことで課題がある際には市役所の職員に相談に乗ってもらったり、入居状況の把握を市役所もしてくれている。		
10	- 権利擁護に関する制度の理解と活用 - 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	学ぶ機会はあるが、職員レベルでの話し合い、支援、十分な理解にはいたってないと思う。○必要に応じて市役所との話し合いをしている	○	成年後見制度を利用している人はいないが、今後のために勉強していく必要がある。
11	- 虐待の防止の徹底 - 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	学ぶ機会があり、防止に努める意識もあると思う。○事業所内では虐待が見過ごされてしまうことが無いように徹底している。○虐待につながらないように言葉を掛け合い注意している○身体的虐待のみでなく、言葉による虐待なども受け止める側のみになって考え防止に努めている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4.理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	○十分な説明納得していただいている。○管理者が行っている。○契約際には不安や疑問をたずねながら行っている	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	○情報公開している。第参機関は設けていないが、利用者の意見等はホーム長やフロアー長、職員に気軽に相談してもらい、運営に活かせるようにしている。○苦情受付表を設置し、必要に応じ貼り出している	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	○事業所から通信を出している。○手紙を出している。○常に報告を心がけている。○毎月請求書に併せてそれぞれの書類を送付している。体調の変化や良好に向かった際にもご家族にはこまめに報告をしている。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	○玄関に意見箱の設置。○苦情が出た場合には報告書に記入している。○苦情や不満は真摯に受け止め改善に努めている	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	○職員の意見をミーティングで話すことが出来る。○ミーティングや個別にも意見をする事ができ、反映に向けて努力してもらっている。○関しりゃに意見を聞いてもらっている	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	○利用者の状況により、対応を心掛けている。また、外出の際は通常より人員配置を多くしたりしている。○必要に応じて管理者や計画作成担当者などが勤務に入る	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	○ 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	○ 心配りし、配慮をしている。○ 1、2 階で移動があった際には各フロアのスタッフがフォローし、入所者へのダメージなど無いように努めている。		
5. 人材の育成と支援				
19	○ 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	○ 勉強会の実施。○ 新人職員に対する指導、マニュアルがつくられている。希望者は研修に行く機会がある。 ○ 入社し1ヶ月はOJTが実施され先輩スタッフについて学ぶことが出来る。試用期間がある。○ 研修を受ける機会がある。○ 研修や勉強会がある		
20	○ 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	○ 特に決まった交流はない。バーベキュー等の行事に参加されたりしている。○ 行事の際には他の施設の方を誘ったり、呼んでもらったりしている		
21	○ 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	○ 相談しにくい雰囲気があり、相談できない。○ 自由に過す時間があります。○ 職員の気持ちを配慮して、取り組んでいる。○ その都度面談をしている。○ 休憩時間に現場から離れられるように南事務所の試用をしていいことになっている。○ 各スタッフの表情等を見て声をかけてもらう		
22	○ 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	○ ミーティングで話し合いが出来ている。○ 職員個々の状況を把握して管理者が声をかけてくれる。○ 毎月の勉強会がある		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○ 初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	○ ミーティングなどで話し合い、必要に応じて改善している。○ 管理者、担当職員が行っている○ 入所すぐは日々の会話の中で不安などを感じ取るように努めている	
24	○ 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	○ 管理者、担当職員が行っている○ 細かなことを家族に報告するようにも努め、家族の不安の解消に努めている。○ 管理者やフロアー長が情報収集をしながら対応をしている○ 家族と直接話をしたり、電話や手紙を通して話を聞く機会を作っている○ 契約までに何度か機会を儲け、関係作りを心掛けている	
25	○ 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	○ お試しデイからの利用等、対応している。○ 話をしっかりと伺っている○ 管理者が電話等の相談も適切に受け、対応をしている○ ケアプランに上げ対応している○ アセスメントをしっかりしている	
26	○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	○ 本人が見学に見えた上でサービスを開始している。○ ミーティングでも話し合っている。○ 本人の様子を見ながら対応を考えている○ ある程度の期間を置いてからサービスの利用を開始している	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○ 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	○ 築けるように努めている○ 本人から学ぶことが多く感じている。支えあえる関係を築いている。○ 日々の生活の中で一方的な支援はほとんどなく、尋ねてから一緒に行うようにしている	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	○家族との面会等もプランにあげ、協力していただいている。○本人を支えていく関係と常に意識している。○一緒に築いている家族も増えている。○日々の生活を手紙にしたり、写真等で本人のことを伝えている ○面会に来ていただけるように、忘年会などにも来ていただける様にしている		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	○努めている。○家族とはよく話し合っている。○毎月、ハルス通信、サマリーを送付している。また、面会の際には居室にて過していただけるようにしている		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	○外出支援○十分ではないが努めている。なじみだった店や場所へ出かける等。○面会に見えたときは居室で水入らずで過せるよう配慮している。○馴染みの人や関係が途切れないように思い出の写真などを部屋に飾っている。○大切にしている場所にお連れ出来ないこともあり、会話の中で思い出を大切にしてもらうように働きかけている。お友達の面会などは、次回につながるように配慮している。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	○努めている。○リビングでの暮らしに重きを置いて、関りあえるように支援している。お互いが助け合えるように支援をしている		コミュニケーションが苦手な人には本人に出来ること(家事)で関れるようにし、職員が間に入っている。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	○大切にしている。○お見舞いをしている。○管理者は退所をする際にはいつでも相談に乗ることを伝え、関係が断ち切られないように連絡を取ったりお見舞いに出向いたりしている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	○ 日頃の会話の中で出た希望は出来るだけ実行できるように検討している。○ 自由に出かけたい希望（徘徊）には付き添い、あとから見失わないようにする。 ○ 本人の意向や思いを大切に支援に取り組んでいる。 ○ 3ヶ月に1度アセスメントの見直しをしている	
34	○ これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	○ ケース記録には目を通してしている。○ 面談の段階である程度担当者が把握し、職員も関りの中で努めていると思うが申し送りなどして周知にまではいたっていない。○ 入居前には経歴等の資料でわかりうる情報はよく読むようにしている。○ ミーティングなどで話し合い把握をしている。	○ 入所の際にはご家族にセンター方式の記入をしてもらうことで、ご家族が抱えている重いなども含め支援に活かせるようにしている
35	○ 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	○ アセスメント表に基づき、様子を見ながら入居者の出来ること、出来ないことを話し合っている心身状態の把握を毎日心掛け、過しやすいように努めている。○ 情報を記録に上げ、共有している	○ ミーティングなどで話し合い必要に応じて見直している。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	○ ミーティングで話し合っている。○ ケアのあり方、課題、問題点などをしっかり話し合っている。○ それぞれの意見をミーティングの場で話し合い、作成している。○ 本人の視点に重点を置き、3ヶ月に1度話し合いプランを作成している。	
37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	○ ミーティングでアセスメントをし話し合っている。 ○ 3ヶ月毎、またはその都度、作成している。○ 変化に合わせてすぐに見直しや修正を行っている	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	○ 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	○ モニタリングの実施。 ○ 記録に残しミーティングで話し合っている。 ○ 申し送りも徹底している ○ 記録をしているが、常々の情報共有にはつながっていない ○ 毎日その日の様子を介護記録に記入している		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	○ 家族にアセスメントシートを渡し、話し合っている。 ○ 常に状況を伝えている。 ○ H P の受診や送迎をしている		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○ 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	○ 盆踊り、運動会、いろいろな行事に参加や協力をしている。 ○ ボランティアに来てもらうことがある。 ○ 地域行事に参加している。 ○ 離設時には消防、警察等に協力を依頼している ○ 広報に掲載された教室や行事なども参加している。		
41	○ 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	○ 事業所連絡会に参加している。		
42	○ 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	○ ホーム長が協働している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	○ 往診の実施。○ 本人のかかりつけ医療機関を利用している。○ 定期的にかかりつけ医に受診し支援をもらっている		
44	○ 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	○ 必要に応じて行うが、近隣に専門医はいない○ 家族から希望があったときには、専門医のリストを管理者が紹介している		○ 以前に物忘れ外来にかかったことがある。
45	○ 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	○ 気づいた点や傷、様子、相談し、指示をもらい対応に活かしている。		○ 非常勤の看護職員がいて、わからないことは聞くことができる。○ 状況に応じて協力医療機関の看護職員も相談にのってくれている
46	○ 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	○ 常に病院へ出向き話し合っている○ 連携しており、情報を共有している。○ 情報交換を行い、病院側の方と何度か話し合いをしている。		
47	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	○ 全員での方針共有はされていない。○ ご家族との話し合いはある。○ 話し合い、全員で方針を共通している。○ 重度化の進行、終末介護が必要な入居者が出た際にその都度話し合いをしている○ 最終的には病院に移ることになっているが、それまではどう対応するかを申し送りやノートで確認することができる。		
48	○ 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	○ 細かな変化をもスタッフ同士で話し合い、申し送り、管理者に徹底して報告をしている。○ 変化があったときにご家族と話し合いをしている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	○その人の使い慣れたものを持ってきてもらったりしている。○家族からセンター方式で情報を得て活かしている。○入居前に使用していたサービス事業者などから情報を得たり、入居後もわからないことなどを相談して利している。		
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1.その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	○プライバシーや個人情報の制約を考えると記録に全てを記入できないこともある。		○薬の袋や、名前の記載してあるものはゴミに出さずシュレッダーをかけるようにしている。ゴミにまぜるものは外部に目立たないようにしている。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	○わかる力に合わせた言葉を選び、説明をしている。○選択しやすいように、選択肢をあげたりしながら本人の意向を汲めるようにしている		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	○すぐに手助けするのではなく、本人が出来る所まではやっていただいている。○心掛けているが、職員の都合を優先することもある。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	○外出時、着替えをしたりかばんを持っていくなどの支援をしている。○美容院を利用されたことがある。○1ヶ月に1回程度散髪をし、毛染めなども対応している。○身だしなみに配慮が行き届かないことが多い。○全ての利用者に行きたい店があるのかを確認したことは無いが、希望者は施設にて切っている。○本人によって季節に合わない格好をされることがあり、その都度支援している。	○	○本人の望む支援の提供にはときに経済的なことも含まれてくるため、ご家族の理解を得る必要がある。○バリアフリーの美容室もあり、2ヶ月に1回でも出かけられるように取り組みたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	○ 盛り付けの工夫。メニューを考えたり、一緒に調理に参加してもらっている。 ○ 毎日何が食べたいのか一緒に考えている。その為、食事準備も片付けも楽しく行っている。 ○ 一緒に食事を盛り付け、配膳や片づけをしている。 ○ 職員と入居者は食事を一緒に撮っている。 ○ 食事の際に献立を再度伝えたり、冷蔵庫にメニューを貼ったりしている		
55	○ 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	○ 好物の把握(個々の)。 ○ 飲み物は比較的している。 ○ 出来ることは日常的に楽しんでいる。 ○ 本人の希望があるときは対応している。 ○ 冷蔵庫には個人のもが入っていて、個人で牛乳を取っている人もいる。 ○ 朝食はパンやご飯を選択できる。 ○ 嫌いなものは代替品を出してもらうことが出来る		○ 制限するだけでなく、お酒を飲む機会などを設けている。 ○ 居室にテレビや冷蔵庫を置かれたり、枕元にラジオを置いている人、それぞれの自由は当たり前のように支援されている。
56	○ 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	○ 声かけや誘導を意識している。 ○ 日中はこまめにトイレ誘導を行い、オムツの使用は極力しないようにしている。 ○ 排泄チェック表を活かし、スタッフ同士で申し送り支援をしている。 ○ パターンや排泄間隔の把握に努めている		○ 入居後に排尿パターンや量を確認の元、トレパンを使用しなくなった人が多い
57	○ 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	○ 体調など考慮して行っているが、同姓介助を希望する入居者のため、職員の都合に合わせてもらうこともある。 ○ できるかぎり希望に沿うようにしている。 ○ 気持ちよく入浴できるように支援している。 ○ 職員の都合で入浴してもらうこともある。 ○ スタッフに余裕がある場合は出来るだけ希望に併せている	○	○ 勤務形態の希望や経験年数が短い職員では入浴介助が出来ない人もいるため、幅を広げていくようにする必要がある。 ○ 毎日9人に入浴をしてもらえないが、毎日湯を沸かし、入浴の機会を失わないように開設当初より実施している
58	○ 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	○ 体調にあわせ、居室で休んでもらうなどの配慮をしている。 ○ 日中の活動や水分摂取量なども考慮している。 ○ 希望にあわせ、日中も居室やリビングの畳にて休息を取っている		○ 居室で休息しているときにはこまめに訪室し、声をかけている。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	○ お正月にはお節やお雑煮などの季節、識に会った楽しみ方を入居者と一緒にしている。 ○ その人にあった特技があり、例えば地域の公園の花の植え替えは○○さん。家族にお茶を出すのは○○さん、といった具合に活躍の場がある。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○ お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	○ お金に関してはご家族の意向も必要になるため、本人の希望に添えないこともある。○一緒に買い物に出かけ、好きなものを買えるように支援をしている。○困難な面もあるが、何か必要なものがある場合は家族に伺い、買い物と一緒にいたり支援をしている。○自分の財布を持って買い物に行ったりしている。○病院受診や外食の支払いを個々でしてもらうように支援している		○ お金を使える額が個々によって違うため、入居時にはどんなものは事業所の判断で購入していいかを記入してもらい、カルテに保管されている。
61	○ 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	○ 散歩や買い物など積極的に支援している。○外食や買い物など出かけている。○春はお花見など季節を感じられる楽しみを外出支援につなげている。○希望に沿って外出するように心がけている。●出来る限り対応しているが、充分とはいえない	○	○ 本人の持てる能力に応じて、出かける頻度には差があるが、支援は行き届いている。●少しでも外出の機会が増えるようにスタッフの意識を高める
62	○ 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	○ 年に何回か遠出をしている。イチゴ狩り、温泉、海など。○いろいろなところに参拝などに出かけている。○個別に計画を立てて、2～3人で何回かに分けて外出している。(思い出のばしょなど)○中のいい入居者と出かけたり、職員と個別で出かける機会がある		○ 遠出の外出は家族に理解をもらい、事業所の可能な範囲で支援をしている。
63	○ 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	○ 年賀状や暑中見舞いのはがきの支援。○家族から誕生祝のお花をもらった際にお礼の手紙を書いたりしている。○頻繁ではないがおこなっている。○電話は希望に応じてかけている。		
64	○ 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	○ 心がけている。○安らげる場所、温かみある場所をモットーに家族なども居心地よく足が運べるように工夫している。○「また来よう」と思える雰囲気作りに努めている	○	○ 一年に1度、家族も交えて何か行えるように取り組んだらどうか。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○ 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	○ 身体拘束者ゼロ。○身体拘束をしないケアを重点に置いている。○勉強会にて学んでいる		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	○自由に出入り出来るようにしている(日中)○鍵をかけないケアに取り組んでいる○居室は本人の自由で鍵をかけることができる○鍵はかかっていないが、2階の出入り口にフェンスがあり、閉められている		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	○見守りを徹底している。○外出している人は申し送りなどで把握している。○昼夜事故の無いようにスタッフ同士で声を掛け合い、取り組んでいる		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	○危険性のあるものなど、本人で管理が不可能な場合は家族に理解を得て持って帰ってもらうなどしている。○注意の必要なものはスタッフが離れるときはテーブルから片付ける、花やティッシュなどは必要でもあるため、安全に努めている。○個人個人で異なるがカミソリ等は預かっている		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	○ひやりはっと事故報告書がある。○事故報告書や申し送りなどで経緯は伝達されている○声かけやスタッフ同士の話し合いをミーティングで行っている。○スタッフ同士で声を掛け合っている		
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	○緊急マニュアルが作成されている。○マニュアルは作成されているが職員によって読まない人もいる。○定期的な訓練は行っておらず職員の自発性に依っている。○1ヶ月に1回もミーティングで話がある。吸引器の練習は各自で行うように言われており、適宜管理者や看護師から説明を受けることが出来る。避難訓練を行っている。	○	○職員それぞれが必要を感じられ、最低限のことが出来るように勉強をする必要がある。○一部の職員を少しずつではあるが消防署の訓練等に行かせている。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	○避難訓練の実施。○定期的な避難訓練をしている○推進会議を通して地域の人の協力が得られるように働きかけている。		○避難訓練は3ヶ月に1度、時間帯を変えながら実施している

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い - 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	○ミーティングで話し合っている。家族にもその都度説明している。○各フロアー長からご家族に説明し、家族の方と話し合っている、		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 - 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	○朝夕のバイタル測定、食事量のチェック。○業務日誌や申し送りなど参考にしながら対応している。○気づいたことは上の職員に相談をして、指示を仰ぎ対応や引継ぎをしている○早期発見が出来ていない○異変を感じたらその都度バイタルの計測をしている○顔色や会話などからも状況の変化を読み取るようにしている。	○	○必要に応じて医療機関を利用している。●判断が困難なこともあるが、今後も早期発見に心掛けて生きたい
74	○服薬支援 - 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	○服薬の際は口腔内を確認し見守りをしている。○全てではないが内服変更があったときなど様子観察している。●全ての薬についての理解は出来ていない		○薬ファイルを作成し、セットを行うときには確認するようになっている。内服の手順についてもこまめにミーティングなどで確認されている
75	○便秘の予防と対応 - 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	○毎朝体操を実施○食事や水分摂取量を考え、体操などを行っている。○体を動かすなどの働きかけはまだまだ十分に出来ていないが。食事の工夫やスタッフ同士の申し送りには十分配慮をしている。○食物繊維の多いものを食事にとりいれたり、歩いてもらうようにしている		
76	○口腔内の清潔保持 - 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	○毎食後の口腔ケアを実施○訪問歯科や歯科衛生士の訪問で支援を受けている人もいる。●自立している人は確認が困難なこともある。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 - 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	介護記録などを記入し、把握し、申し送りで伝達している。○習慣に応じて、本人の受入れやすい支援を心がけている●正確な栄養バランスまでは把握できていない。		食事や、水分摂取量が少ない時には代替品を提供している○定期的な健康診断（血液検査）などのデーターや体重の増減を目安に食事の提供を考慮している

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	○外出から戻ったら手洗いうがい。○消毒の徹底、食事前消毒、居室対応。○面会の際にも消毒など協力をしてもらっている○予防接種している。手洗い、マスク、実行している		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	○消毒の実施、（まな板など）○作り置きなどをさけ、調理器具などは適宜消毒している。○夜勤者が消毒するなど勤めている○痛みやすい食材は早く使うようにしている○食材は国産のものを購入するように努めている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	○スロープがある。○玄関周りには花や野菜など育てている。○ドアは夜間以外、鍵はかけれていない。花壇を手入れしている。○センサーが設置してあり、外からの来訪者も気づきやすい○車椅子がゆったり移動できるように努めている○玄関に家族の写真を掲示している		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	○季節の花を飾ったり、畳を設置したりしている○季節に合わせ、花や飾り物をして季節感を出すようにしている○広々とした廊下がある。○換気扇の調節。季節に応じて行っている。○クリスマスや七夕などの行事の飾りを行っている○まぶしさや風を嫌う方もいるので、その都度対応をしている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	○ソファや畳の配置で工夫している。○利用者一人ひとりの部屋があり、リビングでは何人も座れるソファがある。○2～3人用のソファや一人がけの椅子がある○廊下の奥に書棚がある。○トイレが廊下から見える位置にないため、利用がしやすい		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 せるような工夫をしている	○家族の写真や使い慣れた家具や生活用品などを置 いている。○本人の希望に応じて、行い、必要なものは家 族に相談している。自分の家具を置いている。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	○各居室の窓は毎日開いている、リビング、トイレも 同様。○換気、空調はこまめに行っている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	○手すりなど利用できる。○エレベーターを一人で使う 方もいる。各部屋に洗面台がある。ガス台などが無く やけどへの配慮がされている。○毎日体操を行い、出 来だけ自立した生活が送れるように取り組んでいる ○バリアフリーになっている		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	○ミーティングで常に話し合い、支援に活かしてい る。○今出来ることや出来そうなことに支援の目を向 けるようにしている		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	○外回りには花や野菜を育てている。○花壇や畑があ る。洗濯干しをベランダでしている。○時々外で食事 をする。○バーベキューや日光浴など。○季節に応じ ておやつや昼食をベランダでとっている。○ベランダ や1階までの経路には通常の鍵のみしかなく、誰にで も開閉が出来る。		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目			
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	3 4 2	ほぼ全ての利用者の 利用者の 2 / 3 くらいの 利用者の 1 / 3 くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	4 3 2	毎日ある 数日に 1 回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	4 3 2	ほぼ全ての利用者が 利用者の 2 / 3 くらいが 利用者の 1 / 3 くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	2 4 3	ほぼ全ての利用者が 利用者の 2 / 3 くらいが 利用者の 1 / 3 くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	5 4	ほぼ全ての利用者が 利用者の 2 / 3 くらいが 利用者の 1 / 3 くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	3 5 1	ほぼ全ての利用者が 利用者の 2 / 3 くらいが 利用者の 1 / 3 くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	5 3 1	ほぼ全ての利用者が 利用者の 2 / 3 くらいが 利用者の 1 / 3 くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	3 4 2	ほぼ全ての家族と 家族の 2 / 3 くらいと 家族の 1 / 3 くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	1 3 5	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1	大いに増えている
		7	少しずつ増えている
		1	あまり増えていない
			全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	1	ほぼ全ての職員が
		6	職員の 2 / 3 くらいが
		2	職員の 1 / 3 くらいが
			ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1	ほぼ全ての利用者が
		7	利用者の 2 / 3 くらいが
		1	利用者の 1 / 3 くらいが
			ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	2	ほぼ全ての家族等が
		6	家族等の 2 / 3 くらいが
		1	家族等の 1 / 3 くらいが
			ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)